

平成30年10月10日(木)

埼玉県職員他15名が

筑波山複層林試験地を視察

当初予定日が台風14号の襲来によって延期となり、10月10日のさわやかな秋晴れの中、埼玉県の林業関係の公共団体職員15名を迎えて筑波山複層林試験地の視察が実施されました



筑波山複層林試験地の概要説明

筑波山複層林試験地の設定目的及び複層林全体の設定に至った経緯や8タイプ20区画に及ぶ各試験区の設定内容についての説明を行いました。

群状・点状・列状保残区の説明

各タイプの保残区の林内踏査を行い、下木の成長の違い、今後の施工管理等について活発な質問がされました。



魚骨型伐採区の説明

魚骨型及び魚骨改良型の現地において、区域設定や保残木の状況等について説明しました。メモや写真を撮りつつ熱心に聞き入っていました。



後日、「多くの施業パターンの複層林を直接見ることができ、参加者は今後の森林・林業施策や事業に役立てることと思います。」とのお礼状が届きました
機会がありましたら、他の試験地でお会いできるのをお待ちしております

森林技術・支援センター